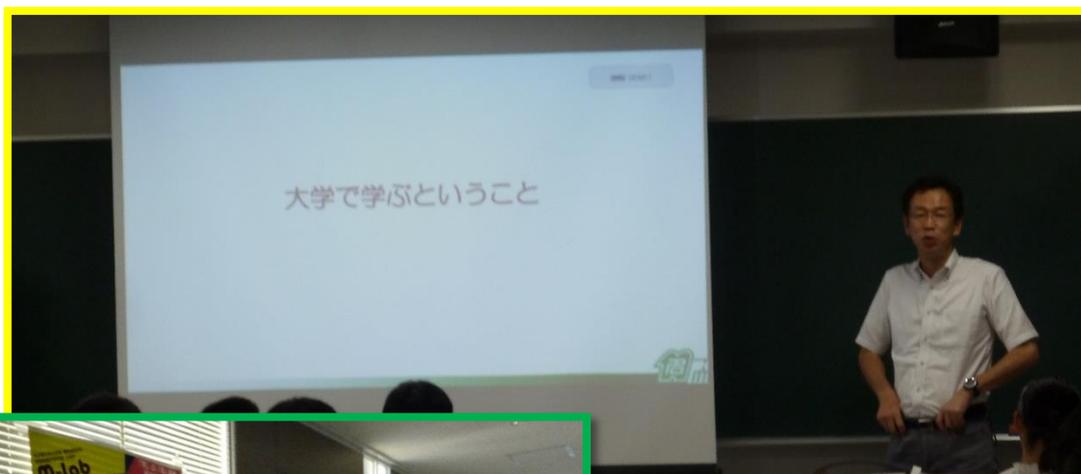


名古屋大学見学会

2019.08.08

進路目標の実現に向けて意欲を高める契機として、名古屋大学見学会を行いました。本校卒業生である山岡耕春教授をはじめ、現在名古屋大学に在籍している本校卒業生13名の協力により、去年に続き3回目を開講することができました。法学部、医学部、農学部ではオープンキャンパスにも参加しました。他学部を含め、一般的な見学では見ることのできない学内の様子や、学習に対するポイントなどの貴重な情報を知ることができました。



参加生徒の声

<法学部>

- ・実際に模擬裁判を見てみて、こんな風に行われるんだなあと驚きました。
- ・模擬裁判では、具体的な事件を設定して、本格的な裁判を見させてもらったのでとても貴重な体験ができました。
- ・先輩方も真剣に模擬裁判に取り組んでおり、いい雰囲気だと思いました。自分もこのような大学に進学できるよう日々の勉強に励んでいきたいです。

<教育学部>

- ・大学によって、同じ学部名でも学べる内容が異なるという事を知ったので、自分の進路決定に活かしたいです。
- ・名古屋大学の施設の特徴や使い方、先輩方がどのような大学生活を送ってみえるかなど、具体的にイメージを持つことができました。また、先輩方が高校の時にどんな勉強をしていたかも教えていただくことができ、私も真似したいと思うことができました。今日学んだことをこれからの生活や進路選択の際に生かしていきたいと思います。

<理学部>

- ・初めて入らせていただいた研究室には見たことの無いものが沢山ありました。OBの方々は皆さん気さくで私たちの質問にも優しく答えてくださいました。

<医学部>

- ・医学部医学科で行われている事や留学制度、学ぶことについても知ることができた。今日は1日を通していろんなことを知ることができて刺激になった。勉強へのモチベーションが上がったので先輩からもらった勉強法のアドバイスを活用したい。
- ・東高の先輩方から貴重な話を聴くことができ勉強へのモチベーションも上がり高校1年生から目標を持ちこれからも頑張りたいと思いました。

<工学部>

- ・「自分が研究した分野で、世界一を目指してやってきた」とおっしゃっていて、見事世界最小のコンタクトレンズにはめるチップを開発していて、僕も世界一の研究、開発をするために今のうちから一生懸命勉学に励みたいと思えて、先輩から良い刺激をもらった。
- ・特に、どこの学部に行っても英語は大切だと知ることができたし、僕の見学した工学部は、数学がとても必要だと改めて知ることができました。だから、一年生の時から数学や英語の勉強を頑張っていきたいです。
- ・名古屋大学はグローバルでどの学部も外国の方と交流があることがわかった。そのために、英語が必須であることもわかった。自分は外国の方と交流してみたいと思っているし話せるようになりたいと思っていたので、視野に入れてこれから行動していきたいと思えた。
- ・何人もの先輩の研究内容を聞いて、自分でものを開発していたり、ドローンを使った実験などを行ったりしていて、自分で考えて追究していく学習が、大学では出来るということがわかりました。また、その研究は大学内だけでなく、世界にも発表し、自分のモチベーションをあげていくことができるということを知り、よい大学だと思いました。

<農学部>

- ・名古屋大学の農学部応用生命科学科ではバイオロジーやバイオサイエンスについての研究をし、未来の日本に貢献する逸材になるための努力を日々しているとわかった。今回のオープンキャンパスで農学部をよく知ることが出来て、進路選択の際に候補のひとつとして考えてみようと思った。
- ・農学1つとってもその中にたくさんの学科があり、そのなかで色々な研究が行なわれていることがわかりました。